

# 平成30年度環境保全功労者等受賞者一覧

(表彰式 平成30年6月13日(水) / 式場: グランドアーク半蔵門)

## ○環境保全功労者表彰

11件(11名)

	本省	氏名(又は団体名)	功績概要
1	環境保健部	中野 武 なかの たけし 大阪大学環境安全研究管理センター招へい教授	PCBに代表される残留性有機汚染物質に関する分析技術や汚染実態に係る研究業績に加え、化学物質環境実態調査等への多年の尽力を通じ、環境保健行政の発展に大きく貢献した。
2	環境保健部	門上 希和夫 かどかみ きわお 公立大学法人北九州市立大学環境技術研究所特命教授・名誉教授	環境中の微量化学物質分析及びその網羅的分析法の研究で顕著な業績を挙げた他、環境省実施の日韓共同研究や化学物質環境実態調査に尽力し環境保健行政の推進・国際連携に貢献した。
3	環境保健部	劔持 堅志 けんもつ かたし 岡山理科大学非常勤講師	環境中の化学物質の汚染実態の把握に必要な分析法を多数開発したほか、化学物質環境実態調査の実施・結果の全体取りまとめを多年に渡って担い環境保健行政の発展に大きく貢献した。
4	環境保健部	宮本 顯二 みやもと けんじ 石綿健康被害判定小委員会専門委員	石綿関連疾患の呼吸機能担当医として石綿健康被害救済制度の運営にご尽力いただいております、また環境省石綿関連疾患に係る医学的所見の解析調査業務にも参画いただくなど多大なる貢献をされてきた。
5	環境保健部	由佐 俊和 ゆさ としかず 石綿健康被害判定小委員会専門委員	石綿関連疾患の臨床医として石綿健康被害救済制度の運営にご尽力いただいております、また環境省石綿関連疾患に係る医学的所見の解析調査業務にも参画いただくなど多大なる貢献をされてきた。
6	水・大気環境局	磯辺 篤彦 いそべ あつひこ 九州大学応用力学研究所大気海洋環境研究センター 教授	マイクロプラスチックを含む海洋ごみ研究の専門家として、数値シミュレーションによる実験や実海域での観測等の研究活動を通じて、日本及び世界の海洋マイクロプラスチックの分布や輸送過程の解明等に貢献するとともに、行政施策及び国際連携の推進に貢献した。
7	水・大気環境局	古米 弘明 ふるまい ひろあき 東京大学大学院工学系研究科教授	水環境保全の専門家として、中央環境審議会等へ参画し、底層溶存酸素量の環境基準の設定等で水環境行政の発展に多大な貢献を果たした他、日本水環境学会の会長として研究の推進にも顕著な功績があった。
8	水・大気環境局	上路 雅子 うえじ まさこ 一般社団法人日本植物防疫協会理事長	中央環境審議会臨時委員(土壌農薬部会、農薬小委員会、環境保健部会、PRTR対象物質等専門委員会)を10年、農薬登録保留基準設定に係る水産検討会及び非食検討会の委員を設立当初から10年以上務められるなど、長年にわたり環境行政の推進に多大な貢献をいただいた。
9	水・大気環境局	福島 武彦 ふくしま たけひこ 茨城県霞ヶ浦環境科学センター長	湖沼水質分野の専門家として中央環境審議会等へ参画するとともに、湖沼における汚濁メカニズムの解明や水質保全対策手法の確立に多大な貢献を果たすなど、水環境行政の推進に顕著な功績があった。
10	水・大気環境局	片谷 教孝 かたたに のりたか 桜美林大学リベラルアーツ学群教授	環境リスク評価、大気科学等の分野において造詣が深く、これまで中央環境審議会大気・騒音振動部会の臨時委員など、多年にわたり環境行政の推進に貢献した。
11	水・大気環境局 地球環境局	高村 ゆかり たかむら ゆかり 中央環境審議会委員、名古屋大学大学院環境学研究科教授	中央環境審議会の委員として、国内の水銀大気排出対策など「水俣条約」をうけた国内水銀対策の取りまとめや気候変動対策の推進に尽力するなど、環境行政の推進に貢献した。